

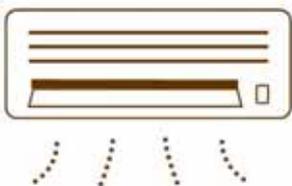
冬の「電気の手順な使い方」

この夏の節電へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

この冬は、電力の安定供給を確保できる見通しですが、電気を効率よくお使いいただくためのご家庭や企業などにおける省エネのポイントをご紹介します。

ご家庭のお客さまへ

暖房機器は、エアコン、こたつ、電気カーペット、電気ストーブなど種類によって暖まり方が違います。寒い冬を暖かく過ごすために、機器を上手に選んでお使いいただきますようお願いいたします。

暖房機器	特徴	省エネのポイント
エアコン 	部屋全体を効率的に暖めるには、エアコンが最適です。	フィルターの掃除はこまめに フィルターは、2週間に一度を目安に清掃すると、ホコリの目詰まりによる暖房能力の低下を防ぐことができます。 自動清掃機能が付いているタイプはこの機能を利用しましょう。 カーテンやブラインドなどで冷気の進入をカット 日射がない時間に部屋を暖める場合は、カーテンやブラインドを閉めて窓から冷気が入ってくるのを防ぐと省エネになります。 風向きは下向きに 暖かい空気は上昇するため、効率よく部屋を暖めるにはエアコンの風向きを下向きにしましょう。また、扇風機やサーキュレーターで天井にたまりがちな暖気を循環させるとより効率的です。 
こたつ 	足元全体が暖まります。	機器本体と床との間に敷物を こたつの掛け布団は2枚に 機器本体の下に断熱効果のあるマットなどを敷くと、熱が床下に逃げにくくなり、省エネになります。また、こたつは掛け布団を2枚にすることで、保温効果を高め、設定温度を低めにしても暖かく感じられます。
電気カーペット 	接触した部分から熱が伝わり、部屋の広さ・使い方にあわせて大きさが選べます。	
電気ストーブなど 	速暖性があり、温風暖房や輻射暖房など種類が多く、用途に応じて選べます。	機器を上手に選んで必要な暖かさを 電気ストーブ、パネルヒーター、ハロゲンヒーターなどは、短時間使用する寒い脱衣所やトイレなど、部分的に暖めたい時に活用することをおすすめします。

その他の機器も、使い方や選び方の工夫で省エネにつながります。

冷蔵庫



設定温度の再確認を

食品の入れ具合に応じて、冷蔵庫が冷え過ぎと感じた場合には設定温度を「弱」にすることで省エネになります。

扉の開閉は短く少なく

普段から冷蔵庫の中は整理整頓しておき、ムダな開閉を減らすと省エネになります。

できるだけ放熱スペースを

冷蔵庫まわりのすき間を多くすると消費電力量が少なくなります。特に冷蔵庫の上に物は置かず、上部を開放すると省エネになります。

温水洗浄便座



フタを閉める

使用後にフタを閉めると暖房している便座からの放熱が抑えられるので、省エネになります。

照明



電球の取り替え時には省エネ性の高いランプを

白熱電球から電球形蛍光灯や電球形LEDランプに取り替えると省エネになります。

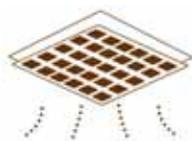
電球形LEDランプは、ランプによって光の拡がりには違いがありますので、パッケージ表示を確認して使用目的に応じて適切に選びましょう。

調光機能を使う

調光機能がついているタイプは、必要な明るさに調節することをおすすめします。

ビル・工場などのお客さまへ

空調



設定温度の調整を

適正な温度設定による空調をおすすめします。

また、使用していないエリアの空調を停止すると省エネになります。

照明



使用しないエリアは消灯を

使用しないエリアの間引き・消灯を行うと省エネになります。

照明の取り替え時には省エネ型を

省エネ型蛍光灯やLED照明などへ取り替えると省エネになります。

パソコン



電源設定の見直し

一定時間使用しない場合は、「システムスタンバイ」が適用されるような設定にしておくと、メモリー以外の機能が全てスリープ状態となり省エネになります。

本資料の省エネ効果は条件によって異なる場合があります。

省エネに関する情報はホームページでもご紹介しています。 <http://www.tepco.co.jp/setsuden/>

©東京電力(平成23年11月)